

2020年度 第2回学校関係者評価委員会議事録

山陰中央専門大学校

日時 2021年3月16日(火) 15時00分～16時00分
場所 坪内学園1号館 6階大会議室
委員定員 9名
出席委員 5名
永島一雄、今井亜彩、諏訪方宣、日野修一、錦織澄
欠席委員 4名
講武直樹、舟木誠一、狩野俊子、田中健
委員以外の出席者 理事長 坪内浩一、副理事長 坪内美和、校長 西田忠男、係長 鴨山達郎、
事務員 オルゲン綾子
議題 (1) 2020年度及び2021年度の教育活動の取り組みについて
教職員研修報告
2021年度坪内学園教育方針、教育目標及びポリシー
(2) 検定合格状況及び就職状況
(3) その他

議事の経過及び結果

永島委員長、坪内理事長の挨拶の後、永島委員長が議長となり議事が進められた。
議事の審議経過及び賛否の結果は以下の通りである。

議 事

(1) 2020年度及び2021年度の教育活動の取り組みについて(1～6頁)
資料 ・2021年度坪内学園教育方針、教育目標及びポリシー(10～15頁)
・教職員研修報告(16頁)

・係長より報告がなされた。

質問および意見

理事長) 今後、山陰中央専門大学校は、学校法人坪内学園の松江総合ビジネスカレッジに移設する予定である。

永島) 留学生はどの学科に在籍しているのか。

理事長) 自動車総合学科と介護福祉士学科に在籍している。次年度は業界からの依頼があり、両学科とも日本人学生の受け入れを再開する。

理事長) 坪内学園教育方針(エデュケーショナル・ポリシー)を設定し、学科の各ポリシーを整理したことで、学生も教員も取り組みの内容が明確化した。「人間性と社会性」を新設し、継続的な就業力の育成に力を入れていく。担当教員がオリジナル教材を作成して活用しており、先日、教職員で研修を実施して学生への指導内容を共有した。

永島) 人間性や社会性の育成は大切である。教育目標(エデュケーショナル・ゴールズ)が変わったことにより、PDCAサイクルの表も変更されるということか。

鴨山) 新たな教育目標に対応したPDCAサイクルを行う予定である。

理事長) こども総合学科では、「自主的に学ぶ」とあるが、学生に対して「楽しく学ぶ」ということを教育活動の取り組みに加えたほうが良い。

永島) 退学者数はどうか。

理事長) 介護福祉士学科の留学生では特定技能での就職希望者の学生が複数名いた。

理事長) 教職員研修についてはコロナ禍によりオンライン研修が増えてきている。今後は多く取り入れて多くの教職員が参加できるように活用していきたい。

(2) 検定合格状況及び就職状況(7～9頁)

・係長より報告がなされた。

質問および意見

鴨山) ビジネス能力検定について受験方法が筆記からパソコンに代わり学生に戸惑いがあった。また、資格に対する意義を学生に伝えきれなかったところがある。

今井) 学校のカリキュラムにはビジネス能力検定など社会で役立つものが多くあるが、学生自身に必要性を理解させることは難しいことである。

永島) インターンシップなどの活用が良いと思う。

西田) 今の学生には、動機づけが必要である。

(3) その他

錦織) 文字をきれいに書けない人が増えている。整った文字を書けることはIT化が進んでも大切であり、文字に人間性が表れる。

永島) 達筆でなくてもゆっくりと書くことが大切である。

理事長) 学生が文字を丁寧に書く意識を指導していきたい。

滞りなく議事進行し、定刻で終了した。

以上の議事を証するため本議事録を作成し、議長が記名押印する。

2021年 3月 16日

学校法人坪内学園 山陰中央専門大学校 学校関係者評価委員会

議 長

永島一雄 